

3

むかし、イタリアのとあるいなかの^{まち}町に、^{ひとり}一人のおばあさんが^す住んでいました。

おばあさんは、メンドリを^{いちわ か}一羽飼っていました。

おばあさんの家^{いえ}は^{まず}貧しかったので、メンドリはあまり^{まんぞく}満足に^{あた}エサを^あ与えてもらえず、とてもやせていました。

お腹^{なか}を^すかしたメンドリは、^{しだい}次第に^{たまご}卵^うを産むこともできなくなってきました。

そこでメンドリは、^{やま}山へ^い行って^{さが}エサを探^さすことにしました

^{はる}ある^ひ春の日。

メンドリは^{やま}山へ^む向かって、^{ある}とことこと^あ歩いていきました。



メンドリが山のふもとまできた時、突然草むらから、
一匹のキツネが現れました。

「ほほう、こいつはうまそうなメンドリだ。ちょっとやせているが、まあがまんしよう」

「ああ、キツネさん。私の体を見てください。こんなにやせていては、あなたのお腹の足しにはなりませんよ。これから山に入って、エサをたくさん食べて、丸々太って帰ってきますから、どうか今回は見逃してください」

「なるほど・・・ちゃんと帰ってくるんだろうな」

「もちろんです。約束します」

キツネはその言葉を信じて、メンドリを見逃してやることにしました。



17

Once upon a time, there was an old woman living in a rural town in Italy.

She had a hen.

The hen was so skinny because the old woman was too poor to feed her hen enough.

Gradually, it became very difficult for a hungry hen to lay eggs.

One spring day.

The hen headed for a mountain with short, steady steps.



When the hen reached the bottom of the mountain, a fox suddenly appeared.

“Wow, this hen looks absolutely delicious. Even though it’s a little too thin but I don’t care about it.”

“Oh, please have a closer look at my body. Probably my thin body will not be enough to satisfy your hunger. Now I go up into the mountain and have lots of foods. I will get myself plumped and then come back. So please let me go now.”

“I see... Do you promise me to return?”

“Of course, I promise.”

The fox believed the hen and let her go.

